



池田くれはロータリークラブ

会長 田中 喜佐雄

国際大会に参加してまいりました。

当日6月17日は、まず日本人ロータリアンの朝食会に出席。500人位の朝食会場で、朝早くから参集したロータリアンがそれぞれに、そして和やかに相集う中から旧知のロータリアンを見つけては、挨拶と握手を交わし、すばらしい朝食会でありました。

午後は、6時30分からの本会議に出席するために、世界中のロータリアンがコンベンションホールに続々と集まり、会場がロータリアンのために所狭しと埋め尽くされました。

朝食会に全世界のロータリアンが参加し、本会議にはもっと多くのロータリアンが参加されました。

本会議場で自国のロータリークラブを紹介された時には大声をあげて、自国をアピールし、それは参加した人数が多くて、少なくとも誇らしげでありました。

日本のロータリアンはどうであったか。私は、RI第2660地区だけでなく、日本のロータリアンにおそれながらひとこと申し上げたい。

あれだけ賑やかであった朝食会なのに、本会議ではあっちこっちで、小さな声で「オー」。

戦後の負の気持ちが残っているのか、それとも日本のロータリアンの良さなのか、考えさせられる国際大会でありました。

